

「生徒指導報告書（様式2）」

○事象発生から概ね3か月後、解消が認められた後、校長は市教育委員会へ提出する。

【 様式 2 】

(〇〇小中-R3-〇)

記載日	令和 年 月 日	泉佐野市立 学校
生徒指導報告書（いじめ用） その後の状況について		校長名: 印
記入者:		記入日:
8. 解消状況	<input checked="" type="radio"/> 解消している（日常的に観察継続中） 解消日 令和 年 月 日 <input type="radio"/> 解消に向けて取組み中 <input type="radio"/> その他 （ ）	
9. いじめられた児童生徒への対応	<input type="checkbox"/> 学級担任や他の教職員が状況を聞いた。 <input type="checkbox"/> 養護教諭が状況を聞いた。 <input type="checkbox"/> SC等の相談員が状況を聞いた。 <input type="checkbox"/> SC等の相談員が継続的にカウンセリングを行った。 <input type="checkbox"/> 学級担任や他の教職員が継続的に面談シケアを行った。 <input type="checkbox"/> 養護教諭が継続的に面談シケアを行った。 <input type="checkbox"/> 別室の提供や常時教職員が付くなどして、心身の安全を確保した。 <input type="checkbox"/> 緊急避難として欠席させた。 <input type="checkbox"/> 他の児童生徒に対し、助力・支援を個別に依頼した。 <input type="checkbox"/> グループ替えや席替え、学級替えを行った。 <input type="checkbox"/> 子ども家庭センター、警察、病院等の関係機関と連携した。 <input type="checkbox"/> その他 （ ）	
10. いじめた児童生徒への対応	<input type="checkbox"/> 学級担任や他の教職員が状況を聞いた。 <input type="checkbox"/> 養護教諭が状況を聞いた。 <input type="checkbox"/> SC等の相談員が状況を聞いた。 <input type="checkbox"/> SC等の相談員が継続的にカウンセリングを行った。 <input type="checkbox"/> 学級担任や他の教職員が指導した。 <input type="checkbox"/> 養護教諭が指導した。 <input type="checkbox"/> 校長、教頭が指導した。 <input type="checkbox"/> 別室指導した。 <input type="checkbox"/> グループ替えや席替え、学級替えを行った。 <input type="checkbox"/> 出席停止 <input type="checkbox"/> 学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施（保護者連携） <input type="checkbox"/> 子ども家庭センター、警察、病院等の関係機関と連携した。 <input type="checkbox"/> その他 （ ）	
11. その後の状況		
12. 対応委員会開催日		
13. 対応委員会メンバー		
14. その他 (市教委・関係諸機関との連携等)		

2018/04 改訂版

○保存管理について

学校は、(様式1)(様式2)ともに写しを保存管理する。保存期間は5年間とする。
 なお、「いじめに関するアンケートの質問紙」や「聴取結果を記録した文書等」についても、紙媒体での原本保存、もしくはスキャナー等によるファイル化資料の保存とし、保存期間は同様の扱いとする。